

2026年2月26日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社  
 (コード番号 4765)  
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)  
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也  
 開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

「顧客中心主義」が結実 SBIアセットマネジメント、運用残高8兆円を突破  
 — グループ全体では12兆円超、20兆円目標へ前進 —

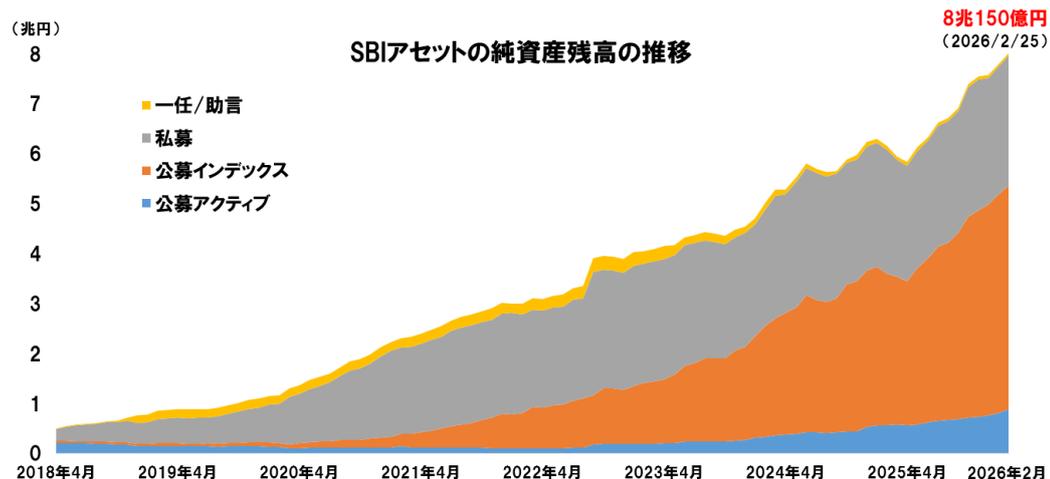
当社グループの運用会社であるSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセット」)の運用残高合計が、2026年2月25日に8兆円を突破しましたので、お知らせいたします。

直近では、当社グループのレオス・キャピタルワークス株式会社が2月10日に1.7兆円、SBI岡三アセットマネジメント株式会社が2月12日に2.3兆円を突破し、グループ全体での運用残高は2026年2月25日時点で約12兆6,195億円となりました。また、投信会社の純資産残高(公募・私募のみ)ランキングにおいて、SBIアセットを含む当社グループ3社の合計残高は、第9位<sup>※1</sup>に位置しております。2028年3月までに、一任・助言・海外運用・M&A等も含むグループベースでの運用残高20兆円達成を目標とする中、各社はそれぞれの強みを活かし、規模を拡大しております。

SBIアセットは、業界最低水準の信託報酬を追求するインデックスファンドを基盤に、長期・積立・分散投資に資する商品を提供してまいりました。主力の「SBI・V・S&P500インデックス・ファンド」(純資産残高約2.6兆円)をはじめ、「雪だるま」シリーズや「サクっと」シリーズなど、多様なニーズに応える商品ラインアップを拡充し、幅広い投資家層から支持をいただいております。

また、アクティブ運用においても、「SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)」や「SBI・S・米国高配当株式ファンド(年4回決算型)」など、「成長」と「分配」の両立を志向した商品群を展開し、これらを組み合わせた毎月分配型ポートフォリオの構築にも対応してまいりました。

加えて、足下で資金流入が拡大している「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり/なし)」をはじめ、「SBI-Manリキッド・トレンド・ファンド」、「SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)」等のオルタナティブファンド、「SBIダルトン日本アジア・アクティビストファンド」等の先進的な商品も展開し、運用の高度化と差別化を図っております。



今回の8兆円突破は、さらなる成長に向けた出発点と捉えております。今後も「顧客中心主義」のもと、低コストかつ高品質なファンドを提供し、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1 出所：投資信託協会公表資料「運用会社別資産増減状況」(2026年1月末時点)。公募投資信託および私募投資信託の合計値。  
 \*\*\*【本件に関するお問い合わせ先】\*\*\*  
 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス:sbigam@sbiglobalam.co.jp  
 SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170  
 (金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会)